

SARS-CoV-2 ラピッド抗原テストⅡ 簡易取扱説明書

※ 本内容は添付文書の抜粋となりますので、詳細は添付文書等をご確認ください。

測定の手順 —鼻腔ぬぐい液—

【準備するもの】

鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブ テストデバイス



開封後



開封後

抽出用バッファータube



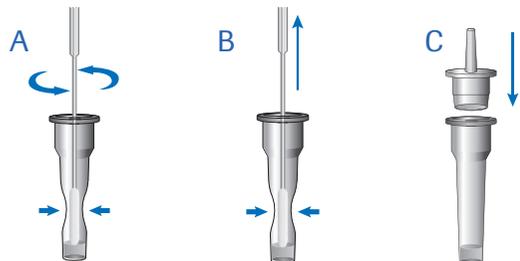
ノズルキャップ



※その他に時計またはタイマーをご用意ください。

② 試料の調製

- スワブを抽出用バッファータubeに移し、**最低 10 回スワブをもみほぐします。**
- tube側面からスワブ頭部をつまみ、**試料を絞り出すようにスワブを引き抜きます。**
- ノズルキャップをしっかりと閉めます。



最低 10 回もみほぐす

① 検体採取(鼻腔ぬぐい液)

鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブを開封します。

その際、滅菌スワブの先端に触れないように注意して開封してください。

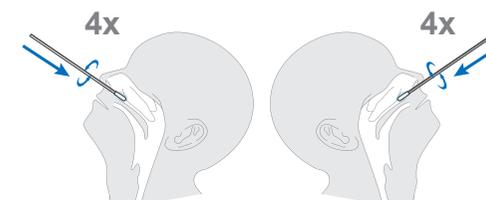
頭部を約 70° の角度になるよう後ろ側に少し傾けてください。

スワブを回転させながら鼻腔約 2cm のところまで挿入します。

鼻腔壁にスワブを 4 回 (約 15 秒間) 回転させ、粘膜表皮を採取します。

滅菌スワブの先端がほかの部位に触れないように注意深く引き出します。

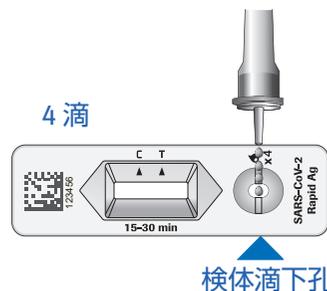
同じスワブを使用して**反対の鼻腔でも同様の操作を繰り返します。**



③ 試料の滴下

テストデバイスの検体滴下孔に真上**垂直**から **4 滴** を滴下します。時計またはタイマーを 15 分にセットします。

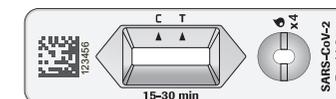
試料滴下後は、テストデバイスを水平な場所に置き、動かさないでください。



④ 検査結果の判定

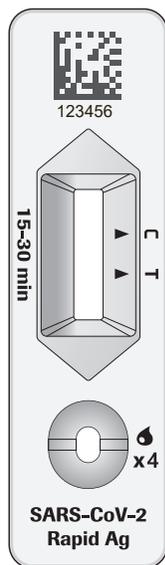
15 分経過後、次ページを参照し判定を行います。尚、判定は 30 分以内に行ってください。

 検査時間 15 分
 判定時間 15 ~ 30 分



陰性の判定はコントロールラインが早めに出現した場合であっても、必ず 15 分以降に行ってください。また、30 分以上経過した後の判定は正確な検査結果が得られない可能性があります。

結果の判定法 — 判定は必ず滴下後、15～30分の間を実施してください。



コントロールライン



検査が正しく行われたことを示す

テストライン

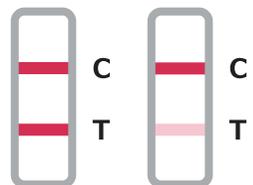


SARS-CoV-2 抗原



陽性

コントロールライン (C) とテストライン (T) の **2本のライン** が出現する。テストライン (T) が薄い場合でも陽性と判定する。



SARS-CoV-2 抗原が陽性であり、感染性を持っていることを示します。

速やかに医療機関を受診してください。



陰性

コントロールライン (C) 1本のみが出現する。



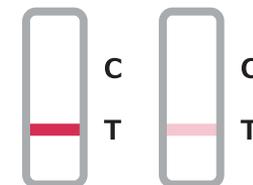
SARS-CoV-2 抗原は検出されませんでした。

偽陰性（過って陰性と判定されること）の可能性も考慮し、症状がある場合には医療機関を受診してください。
症状がない場合であっても、引き続き、外出時のマスク着用、手指消毒等の基本的な感染対策を続けてください。



無効

コントロールライン (C) が出現せずテストライン (T) のみ出現したり、1本もラインが出現しない。



検査は無効です。
再検査を実施してください。

本キットや検体採取に使用した綿棒などは家庭ごみとして各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

使用後の綿棒等は感染性を有するおそれがありますので、廃棄時の取扱いには十分注意し、使用したキット（綿棒、チューブ等を含む）をごみ袋に入れて、しっかりしばって封をする、ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にごみ袋に入れる等、散乱しないように気を付けてください。